

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		無電柱化推進事業		路河川名等	(一)塩尻(停)線		
事業毎の通番		1	市町村名	塩尻市	箇所名(ふりがな)	大門(だいもん)	
事業概要	事業目的	塩尻市大門は、塩尻駅に近い大型店舗を核とする商業地域です。塩尻駅から大型店舗周辺までの経路においては、当該区間のみが電柱が林立する区間として残っています。このため、無電柱化の推進により、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上及び防災の信頼性向上を図ります。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	農山村産業クラスター形成PJ		事業実施の根拠法令等	道路法 電線共同溝の整備等に関する特別措置法		
	関連する事業、計画等	塩尻市都市計画マスタープラン(H21)により本エリアを市の「中心的拠点」と位置付けられている。塩尻市中心市街地活性化基本計画により面的な整備が図られている。					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	塩尻駅～中心市街地への歩行者、災害時の通行車両他					
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.1		国庫	その他
	全体事業内容(主な工種)	電線共同溝設置 L=400m			300,000	180,000	120,000
	年度事業内容(主な工種)	電線共同工詳細設計			6,000	3,600	2,400
	事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	歩道空間を占有している電柱の地中化により、快適・安全な歩行空間が得られる。 無電柱化により、災害時等の電柱転倒、電線垂れ下がりによる交通障害の発生がなくなる。				
		間接的効果 (定量的・定性的)	道路空間の圧迫感解消により、沿道の良好な景観が得られる。 良好な景観、快適な歩行空間の形成により、市街地の活性化が見込める。				
評価の視点	必要性	一日当たりの交通量は、車両7,168台、歩行者727人、自転車290台と非常に多く、円滑な通行、安全な歩行空間の確保のため、無電柱化が必要である。				評価	A
	重要性	当該地は、塩尻市都市計画において、商業地区となっており、塩尻市都市計画マスタープラン(H21)によりエリア一体が市の中心的拠点と位置付けられており、安全な歩行空間の確保や良好な景観形成が重要である。				評価	B
	効率性	費用対効果は1以上であり、5年未満の早期事業完成により効率的に事業を行う。				評価	B
	緊急性	塩尻市移動円滑化基本構想により、重点整備地区の特定経路に指定され、塩尻市中心市街地活性化基本計画の面的な整備がされるなか、塩尻駅、塩尻市役所、市民交流センターえんぱく等の公共施設が立地しており、緊急的に事業を行う必要がある。				評価	A
	計画熟度	地域住民や市町村から事業計画に対して要望があり、関係者を中心に事業説明会を開催して周知することにより合意形成を図っている。				評価	B
	部意見	前後区間で無電柱化が完了しており、塩尻の中心市街地であることから、早急な無電柱化が求められており、災害時の減災の観点からも整備が必要である。	行政改革課意見	無電柱化により安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び防災信頼性の向上を図ることから、緊急性が高く、必要性も認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

電線共同溝設置工 L=400m(片側L=200m)

至 塩尻駅

至 朝日村

至 国道153号

無電柱化完了 区間約450m

事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

歩道空間に電柱が林立し、上空、商店街の視界を電線が占有している。隣接区間は、無電柱化により快適な歩行空間及び災害時には、電柱転倒による交通マヒ、住民活動に支障が生じる。良好な景観が確保されている。

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

全国的に欧米諸国に比して電線地中化の遅れにより、安全で快適な通行空間の確保上、都市景観上、都市防災上及び安定供給上の支障が生じている。当該箇所においても、塩尻駅、塩尻市役所に近接するなか、一部区間に電柱、電線が設置されており、安全で快適な通行空間確保、都市景観向上、都市防災のため、無電柱化事業が要望されている。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

地域要望により塩尻市から要望が挙げられている。クリーン塩尻パートナー制度により植樹帯の除草等の活動が行われている。

③事業説明等の経緯

平成26年5月14日に大門地区会議において、区長会から推進の意向を確認した。平成26年9月下旬に沿線区へ事業説明を行い、合意形成を深める。

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

塩尻市移動円滑化基本構想により、重点整備地区の特定経路に指定され、塩尻市中心市街地活性化基本計画により、面的な整備がされている。

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

現状のマウントアップ形式歩道を段差が少ないセミフラット形式の歩道にすることにより、歩行しやすい歩道空間を確保する。

⑥地域活性化への影響と配慮

無電柱化による沿道空間の圧迫感解消により、良好な景観を形成し、商業活動等の地域活性化に寄与する。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 6' 44"

東経:E 137° 57' 1"